記者発表資料

平成21年8月21日
酒田河川国道事務所

国道7号鶴岡バイパスの 4車線化延伸の効果

～朝夕の渋滞が緩和し、通過時間が短縮～

国道7号鶴岡バイパスでは、渋滞緩和・交通安全の向上を図るため、4車線化を推進しています。

このたび、平成20年12月22日の鶴岡高架橋から覚岸寺(かくがんじ)交差点手前までの開通に引き続き、覚岸寺(かくがんじ)交差点から本田交差点手前までの0.7kmが平成21年7月30日に4車線として開通しました。

主要渋滞ポイントである覚岸寺(かくがんじ)交差点では、渋滞が大幅に緩和し、バイパス通過時間の短縮が確認されましたのでお知らせします。

○覚岸寺交差点で、鶴岡市内に向かう右折車により発生していた渋滞長がピーク時で「1,000m→150mに減少」

○西京田交差点から本田交差点までの通過時間がピーク時で「10.2分→4.2分に短縮」

※渋滞長の緩和、及び通過時間短縮の効果確認については、H21.7.16(木)に開通前状況、H21.8.4(火)に開通後状況を計測したものです。

〈発表記者会:酒田記者クラブ、鶴岡記者会〉

問い合わせ先

国土交通省　東北地方整備局　酒田河川国道事務所
〒998-0011　酒田市上安町一丁目2－1
TEL:0234－27－3331(代)

副所長(道路担当)　堀(ほり)　喜代志　(内線205)
調査第二課長　菅(すが)　太　(内線451)

一般国道7号

鶴岡BPが4車線開通して

（平成21年7月30日開通）

①朝の通過時間が6分短縮
②主要渋滞ポイントの渋滞が緩和



○主要渋滞ポイント
（覚岸寺交差点）

朝の通勤時間帯を中心に、新潟方面から市内へ右折する車輌が多く、直進車輌の通行を阻害し渋滞が発生していた。









